きらり水島　支援プログラム（放課後等デイサービス）

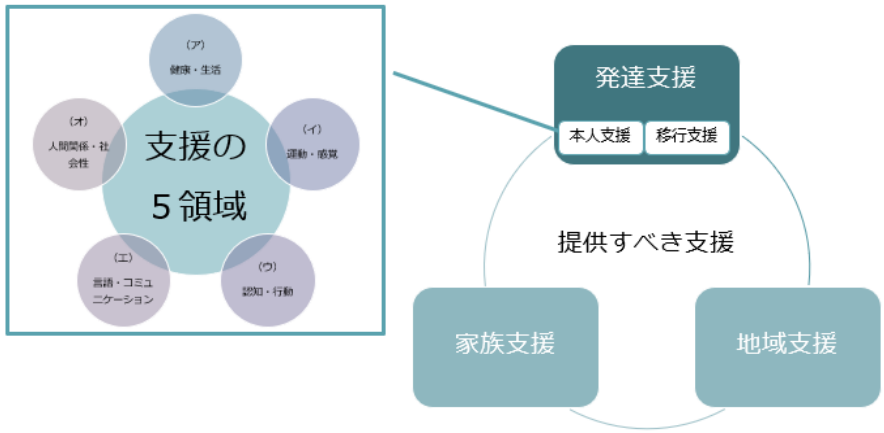
営業時間	8:30～17:15		開校日～18:00	送迎実施の有無	有	
法人理念	「ともに育ち　ともに生きる」 地域共生社会を目指し、ともに手を携えていこうという願いの基に法人理念を定めている					
支援方針	①障がいの程度や有無に関わらず、こどもたちがそれぞれ自分らしく育つことが出来るよう、一人ひとりの強みを見つけて表現の機会を作り、家族や地域と共有します！ ②関係機関が共通の認識を持って支援の方向性を合わせることや、繋がり・支え合い・居場所を意識した支援の展開を目指します！					

支援内容

対象児 / 項目		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
		小学生(6～11歳児)	中学生(12～14歳児)	高校生(15～17歳児)
本人支援	健康・生活	**a.健康状態の維持・改善、b.生活リズムや生活習慣の形成、c.基本的生活スキルの獲得**		
		睡眠・生活リズムの安定、不調の表出方法獲得、食事着脱排泄手段とスキル獲得	服薬管理、生活リズムの安定、不調等心身の異変の表出、継続・持続的な生活スキルの活用	
	運動・感覚	**a.姿勢と運動・動作の向上、 b.姿勢と運動・動作の補助的手段の活用、 c.保有する感覚の総合的な活用**		
		日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、四肢の運動動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化、補助的手段の活用、自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動等移動能力向上 保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用した遊びや活動への参加、補助機器の活用(眼鏡・補聴器等) 感覚や認知の特性(過敏・鈍麻)に応じた環境調整下での生活		
	認知・行動	**a.認知の発達と行動の習得、 b.空間・時間・数等の概念形成の獲得、c.対象や外部環境の適切な認知と行動の習得**		
		環境から情報を取得→必要なメッセージを選択→行動 数量・大小等概念習得 こだわり・偏食等の特性への対処法獲得		感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防と適切行動の獲得
	言語 コミュニケーション	**a.言語の形成と活用、 b.言語の受容及び表出、 c.コミュニケーションの基礎的能力の向上、d.手段の選択と活用**		
		体系的な言語・自発的な発声の習得、アイコンタクト・共同注意の獲得等コミュニケーション能力の向上、指差し・身振り・サイン等の獲得と活用、読み書き能力向上、文字・記号・絵カード・機器等の手段の選択と活用、手話・点字・音声・文字・触覚・平易な表現による多様なコミュニケーション手段の活用と意思伝達能力の向上		獲得した手段の活用と応用
	人間関係・社会性	**a.他者との関わり(人間関係)の形成、 b.事故の理解と行動調整、 c.仲間づくりと集団への参加**		
		アタッチメントの形成、模倣行動による社会性・対人関係の発達、感覚・運動遊び～象徴遊び、ひとり遊び～協同遊びの経験、ルール理解	自分の行動の特徴理解、気持ちや情動の調整、余暇の過ごし方の選択	
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)		**多様な経験と地域資源の活用**		
		ボラ・実習生等との交流。地域や法人公益イベントへの参加、保育園や児発セン行事への参加、公共交通機関や施設の利用を通した余暇活動等		公共機関や施設を利用した余暇活動。公益活動への参画を通した就労体験等
移行支援		**次のライフステージを意識したスキル獲得と切れ目のない支援体制づくり**		
		本人:変更や変化に対応する支援。表出スキルの獲得等。 機関:所属校との連携(訪問)や関係機関連携(支援会議・担当者会議)。		
		支援の方向性やツールの引き継ぎ		移動手段の獲得、活動の選択
家族支援		**必要なサービスが受けられる情報の共有**		
		本人・家族に適した福祉サービス情報や学ぶ機会の発信。 先輩保護者や保護者同士の交流。家族の伝える力・繋がる力のサポート。		
職員の質の向上		**法人内(外)研修、専門職別勉強会、事業所間交流**		
主な行事等		季節のレクリエーション(夏祭り・ハロウィン・クリスマス会等)、食育活動(クッキング)、買い物活動、おしごと体験等		

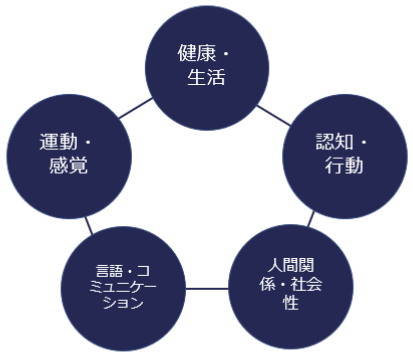
作成日R6年12月21日

【提供すべき支援の全体図】



【本人支援】の５領域

目標　子どもが将来日常生活や社会生活を円滑に営めるようにする



５領域はお互いに関連しており、重なる部分もある